

平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月10日

上場会社名 ムトー精工株式会社
 コード番号 7927 URL <http://www.muto.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部担当
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 田中 肇
 (氏名) 金子 貞夫

TEL 058(371)1100

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	4,863	△9.4	△255	—	△351	—	△356	—
28年3月期第1四半期	5,367	9.4	△42	—	55	—	25	—

(注)包括利益 29年3月期第1四半期 △1,445百万円 (—%) 28年3月期第1四半期 254百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	△49.61	—
28年3月期第1四半期	3.49	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	21,300	—	10,073	—	44.4	—
28年3月期	22,105	—	11,540	—	48.9	—

(参考)自己資本 29年3月期第1四半期 9,447百万円 28年3月期 10,817百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	8.00	—	0.00	8.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	13,000	10.2	150	—	140	89.7	100	—	13.91
通期	25,500	13.5	400	—	360	—	300	—	41.74

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期1Q	7,739,548 株	28年3月期	7,739,548 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

29年3月期1Q	552,649 株	28年3月期	552,649 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期1Q	7,186,899 株	28年3月期1Q	7,187,001 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、熊本での震災や英国のEU離脱問題などを背景に、円高・株安が進行しました。また、大企業を中心に雇用状況は改善傾向にあるものの、外国人観光客による購入額は減少しており、個人消費は伸び悩みが続いております。

世界経済は、英国の動向や世界各地での移民問題・テロ事件等による影響が見られました。景気の減速が続く新興国に加え、回復傾向にある米国・欧州においても、先行き不透明な経済情勢が続いております。

当社を取り巻く業界では、AV関連においては、熊本地震に伴う工場稼働停止により、デジタルカメラ等の生産に遅れが生じました。加えて、近年好調だった外国人観光客向けの家電販売は、円高などを背景に減少傾向にあります。自動車関連においては、輸出や現地販売は米国を中心に好調が続いておりますが、国内では燃費データ不正問題の影響等により、軽自動車の販売不振が見られました。またAV関連と同様に、熊本地震によって自動車の生産活動に遅れが出ております。

このような経済環境のなか、当社グループにおきましては、ムトー(タイランド)CO.,LTD.の立上げ・生産遅れによる経費の増加に加えて、熊本地震による減産や英国のEU離脱問題に起因する急速な円高進行が更に収益を圧迫し、その結果、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高は48億6千3百万円と前年同四半期と比べ5億4百万円(9.4%)の減収、営業損失は2億5千5百万円(前年同四半期は営業損失4千2百万円)、経常損失は3億5千1百万円(前年同四半期は経常利益5千5百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は3億5千6百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益2千5百万円)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① プラスチック成形事業

当セグメントにおきましては、前連結会計年度から引き続き金型の販売強化により自動車向け外装部品をはじめ、血圧計などの健康機器においても順調に金型製作・試作の受注を確保しております。一方で、中国においてはカメラ部品の生産が減少傾向にあり、4月に発生した熊本地震の影響により国内におけるカメラ部品が減産となりました。また、電子ペン関連において量産を受注しており、第2四半期連結会計期間以降の大幅な売上増加を予定しておりますが、それに伴う生産準備費用が増加しており、加えて、急速な円高の進行による為替の影響を受け、その結果、当第1四半期連結累計期間において、売上高はセグメント間の内部売上高を含めて42億8千7百万円と前年同四半期と比べ4億1千3百万円(8.8%)の減収となり、セグメント損失(営業損失)は2億3千2百万円(前年同四半期はセグメント損失(営業損失)4千8百万円)となりました。

② 精密プレス部品事業

当セグメントにおきましては、カメラ関連、その他の電子機器についても受注状況は横ばいとなっております。海外において客先のコストダウン要求や円高による材料費の高騰の影響を受けており、国内においてはプレス関連の生産遅れにより経費、運送費が増加いたしました。その結果、当第1四半期連結累計期間において、売上高はセグメント間の内部売上高を含めて5億4千万円と前年同四半期と比べ1億6百万円(16.5%)の減収となり、セグメント損失(営業損失)は2千5百万円(前年同四半期はセグメント利益(営業利益)3百万円)となりました。

③ プリント基板事業

当セグメントにおきましては、設計部門は、パソコンやサーバー等の高密度の電子機器に使用されるICとプリント配線板を接続するために使用されるパッケージ基板や複写機などの設計業務が売上を伸ばしております。一方、検査部門においては、電波時計に使用される基板の検査業務の受注は増加しましたが、半導体関連のテスター基板や遊技機器に使用される基板の受注が大きく減少いたしました。その結果、当第1四半期連結累計期間において、売上高はセグメント間の内部売上高を含めて6千9百万円と前年同四半期と比べ1百万円(2.2%)の減収となりましたが、セグメント利益(営業利益)は2百万円と前年同四半期と比べ0百万円(61.2%)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間の財政状態は、流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べ3億7千9百万円減少し、136億6百万円となりました。現金及び預金が4億6百万円、受取手形及び売掛金が3億5千5百万円、原材料及び貯蔵品が1億1千3百万円それぞれ減少し、商品及び製品が3億7千4百万円、未収入金が1億2千1百万円それぞれ増加したことなどが主な要因です。

固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べ4億2千5百万円減少し、76億9千4百万円となりました。有形固定資産が3億4千7百万円減少したことなどが主な要因です。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ8億5百万円減少し、213億円となりました。

また、流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べ9億1千万円増加し、92億1千3百万円となりました。短期借入金が11億1千5百万円増加し、支払手形及び買掛金が7千万円、1年内返済予定の長期借入金が6千8百万円、賞与引当金が1億8百万円それぞれ減少したことなどが主な要因です。

固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べ2億4千9百万円減少し、20億1千3百万円となりました。長期借入金が2億3千5百万円減少したことなどが主な要因です。

この結果、負債の部は、前連結会計年度末に比べ6億6千万円増加し、112億2千6百万円となりました。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ14億6千6百万円減少し、100億7千3百万円となりました。利益剰余金が3億5千6百万円、為替換算調整勘定が9億7千6百万円それぞれ減少したことなどが主な要因です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の連結業績予想(第2四半期(累計)、通期)及び配当予想(第2四半期末、期末)につきましては、平成28年5月13日にて公表いたしました「平成28年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」の内容より変更はありません。

なお、実際の業績は今後の様々な要因によって大きく差異が発生する可能性があります。今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には速やかに開示する予定であります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

海外連結子会社の税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,959,307	4,552,639
受取手形及び売掛金	4,106,547	3,750,752
電子記録債権	516,300	614,622
商品及び製品	704,652	1,078,725
仕掛品	1,148,657	1,075,386
原材料及び貯蔵品	1,683,045	1,569,338
未収入金	312,600	433,808
繰延税金資産	2,781	2,591
その他	553,217	529,498
貸倒引当金	△1,267	△1,267
流動資産合計	13,985,840	13,606,095
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,099,199	1,911,337
機械装置及び運搬具（純額）	3,419,725	3,394,748
土地	1,072,592	1,053,727
建設仮勘定	247,279	148,691
その他（純額）	526,095	508,622
有形固定資産合計	7,364,892	7,017,127
無形固定資産	266,362	243,049
投資その他の資産		
投資有価証券	243,797	205,910
退職給付に係る資産	94,389	82,496
その他	153,503	148,393
貸倒引当金	△2,885	△2,885
投資その他の資産合計	488,804	433,914
固定資産合計	8,120,060	7,694,092
資産合計	22,105,900	21,300,187

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,837,204	2,766,982
短期借入金	3,034,154	4,149,891
1年内返済予定の長期借入金	1,145,168	1,076,446
未払法人税等	46,292	43,674
賞与引当金	164,551	56,211
繰延税金負債	391	349
その他	1,074,821	1,119,567
流動負債合計	8,302,583	9,213,122
固定負債		
長期借入金	1,904,249	1,668,360
繰延税金負債	23,383	22,942
役員退職慰労引当金	127,138	118,348
退職給付に係る負債	203,449	199,563
その他	4,565	3,938
固定負債合計	2,262,785	2,013,154
負債合計	10,565,369	11,226,276
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,188,960	2,188,960
資本剰余金	2,246,096	2,246,096
利益剰余金	6,898,851	6,542,316
自己株式	△397,733	△397,733
株主資本合計	10,936,173	10,579,639
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	48,119	10,572
為替換算調整勘定	△166,753	△1,143,096
その他の包括利益累計額合計	△118,634	△1,132,524
非支配株主持分	722,991	626,796
純資産合計	11,540,531	10,073,911
負債純資産合計	22,105,900	21,300,187

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	5,367,970	4,863,603
売上原価	4,629,050	4,390,899
売上総利益	738,919	472,703
販売費及び一般管理費	781,679	728,323
営業損失(△)	△42,760	△255,619
営業外収益		
受取利息	8,405	7,213
受取配当金	2,663	2,964
為替差益	84,649	-
その他	9,677	4,220
営業外収益合計	105,397	14,398
営業外費用		
支払利息	7,311	14,518
為替差損	-	95,460
その他	7	378
営業外費用合計	7,319	110,357
経常利益又は経常損失(△)	55,317	△351,578
特別利益		
固定資産売却益	65	2,387
特別利益合計	65	2,387
特別損失		
固定資産除却損	63	544
特別損失合計	63	544
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	55,319	△349,734
法人税等	24,276	23,600
四半期純利益又は四半期純損失(△)	31,042	△373,335
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支 配株主に帰属する四半期純損失(△)	5,968	△16,801
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会 社株主に帰属する四半期純損失(△)	25,074	△356,534

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	31,042	△373,335
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	44,362	△37,547
為替換算調整勘定	178,924	△1,034,585
その他の包括利益合計	223,287	△1,072,132
四半期包括利益	254,330	△1,445,467
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	232,589	△1,370,424
非支配株主に係る四半期包括利益	21,740	△75,042

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	プラスチック 成形事業	精密プレス 部品事業	プリント基板 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,692,574	608,070	67,325	5,367,970	—	5,367,970
セグメント間の内部 売上高又は振替高	8,325	39,342	3,398	51,067	△51,067	—
計	4,700,900	647,413	70,724	5,419,038	△51,067	5,367,970
セグメント利益又は損失(△)	△48,122	3,804	1,557	△42,760	—	△42,760

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	プラスチック 成形事業	精密プレス 部品事業	プリント基板 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,280,775	516,031	66,795	4,863,603	—	4,863,603
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,489	24,615	2,352	33,457	△33,457	—
計	4,287,264	540,647	69,148	4,897,060	△33,457	4,863,603
セグメント利益又は損失(△)	△232,642	△25,486	2,510	△255,619	—	△255,619

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。